



此を以て今も少りしを表 蘭路

かゝるもの多し

ふたれ燕、此其石

松乃風おれ

其友

まはりて松を
高く又ゆるり可大

李道

風を以て神の心と云ふ松の心

本寺

相手を

一節もあつては、此れ外や記さず 春蟻

くさしと記さくや名なく、礎を記す 水兆

いふ多神は、切らぬとあつて、不 標堂

深き此境なり、梅乃を以 奇例

三河吉田

松乃心を以て

目より

残考

其友

松乃紅のりたり多

雨二りやま

北城

守山

直に代を

其の心 慶村

